新幹線プレス

2015 年 2 月 24 日	No.211
発行者	成　田　隆　浩
編集者	教　　宣　　部
ＪＲ東海労新幹線地本	

官製春闘を打破し、2015春闘を闘い抜こう！

第20回定期地本委員会開催

２月２２日、新幹線地本は荏原第５区民集会所において第２０回定期地本委員会を開催し、当面する春闘を中心とした取り組みに向けての意思統一を行いました。

議長には東京車両所分会の長浜委員を選出し、議事が進められました。

冒頭の挨拶に立った成田委員長からは、「山本裁判の勝利の意義を今一度我が物とし今後の闘いに生かしていく」「不当なボーナスカットを許さない闘いを展開した結果、昨年末で１名まで減らした。攻撃を押し返した現実を確認しよう」「２０１５春闘は政府主導の官製春闘などと言われているが、それは労働組合が闘う姿勢を示していないからだ。我々はどう闘うのか。それは賃金闘争だけでなく、労働条件改善や職場諸要求を掲げてしっかり闘いをつくっていくことだ」との提起を受け、来賓の本部淵上委員長、地本ＯＢ会伊藤会長より激励と連帯の挨拶をいただきました。

安倍政権の暴走を許さず、平和・人権・民主主義を守るために大きく声を上げよう！

質疑では、年休問題や効率化施策に向けた会社の動向などの各職場における諸問題をはじめ昨今の危機的な情勢や将来展望を見据えての意見など、委員全員からの発言を受け、アベノミクス『官製春闘』を打破し、春闘要求獲得のみならず、貧困・格差の解消と平和で安心して暮らせる社会を守るために闘う当面する活動方針を全体で確認し、委員会を終了しました。